|  |  |
| --- | --- |
| **19**（月） | Remnantをサミットとに |
|  | **コロ4章7～8節**　ティキコをあなたがたのもとにわすのは、ほかでもなく、あなたがたがたちのをって、にましをけるためです。(8) |
|  | はわざわいにえるために、Remnantにサミットのをくださいました。Remnantは、とをするのをりでわうことができます。１つ、Remnantにはのがあります。ヨセフはエジプトというのになりました。しかし、ヨセフの\*はをかすでした。Remnantは、と\*をはっきりとってください。２つ、Remnantののてがあります。ヨセフは、いときにととがおじぎをするをました。をあらかじめたのです。をたことこそがのてです。Remnantがでりによってのをわえば、がくださるのをむようになります。３つ、はRemnantをかすとしてばれました。にけば、Remnantをすることばをくことがあるでしょう。まったくつくことなく、かえってそののためにからりましょう。そののをってかすができるように、がしてくださるでしょう。Remnantはとののでをしましょう。そのをってひとりでしてるをてば、ずがのとしてくださいます。\*：メインののことです。\*：ではない、りのをしてつのことです。 |
|  | 、わざわいにえるサミットのをわいますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.09.08.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **20**（火） | のターニングポイントのしるべとレムナント |
|  | **使1章8節**　しかし、があなたがたのにむとき、あなたがたはをけます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの、さらにのてまで、わたしのとなります。 |
|  | Remnantがをんでいると、ターニングポイントをえるがあります。そのターニングポイントがしるべです。そこでののことがしげられるのをます。そして、Remnantののてはです。このをよくえてにとどめましょう。１つ、パウロはテサロニケというをにってました。ローマにくながあったからです。そこでにって、イエスがなぜでななければならなかったのか、なぜしなければならなかったのかをしました。２つ、パウロとプリスカは、ごとににりました。でキリストのである、とりについてえました。そして、アポロにカルバリの、オリーブ、マルコののでかれたのみをえました。３つ、パウロはにるに、マルコののののきをにわいました。そして、でにのを３かの、しました。その、ティラノがこりました。パウロはそこでローマもなければならないというなをしました。Remnantはにわれた237かと５に、ただキリストのをらします。このをくにきながら、にのがむようにりましょう。 |
|  | 、パウロがでRemnantにえたのが、がいるにみますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.09.14.レムナントTCK伝道学 |

|  |  |
| --- | --- |
| **21**（水） | ターニングポイントのしるべと |
|  | **使1章1～8節**　イエスはしみをけた、くのかなをもって、ごがきていることをたちにされた。にわたってらにれ、ののことをられた。(3) |
|  | キリストによってのがのやぐらとなってくださいました。のがたちのとのをいてくださいます。このをりでわいましょう。であるRemnantがすることがあります。１つ、をしくするようにりましょう。イエス・キリストは、まことのとしてサタンのにたれ、まことのとしてたちをわざわいからしてくださいました。そして、まことのとして、がないのから、にうとなってくださいました。このキリストによってだけのがみ、がされます。２つ、のをってりましょう。そのとき、237かのがかれて、にがきめます。また、のをからせてくださり、とのをしてくださいます。このことがでこります。３つ、のためにりましょう。イエスがをってかれるときに、「わたしのためにいてはいけません。むしろと、のどもたちのためにきなさい」とわれました。Remnantはになとの、ののえをえましょう。Remnantはをしくして、とそのをえるのためにりましょう。 |
|  | 、をしくして、そのとのためにるRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.09.14.核心訓練 |

|  |  |
| --- | --- |
| **22**（木） | にささげる/とはか |
|  | **ロマ12章1～3節、ヨハ14章21節**　ですから、たち、はのあわれみによって、あなたがたにめます。あなたがたのからだを、にばれる、なるきたささげとしてげなさい。それこそ、あなたがたにふさわしいです。(ロマ12:1) |
|  | Remnantはのみことばのにあることをして、そのをみましょう。Remnantがむは、どんなでしょうか。１つ、Remnantはにささげるをしましょう。たちがささげることができるのは、りとです。まず、たちのとので、りのをつけましょう。りはすべてであり、をかすです。Remnantがりをわえば、にしたになって、がにりつのをます。にしたがってって、ともにおられることをわっていると、がかされるのをます。３つ、Remnantはににしましょう。のとみこころをってめることがです。はたちがえることより、もっといことをえてくださいます。これをじれば、のみこころをしてすることができます。のみこころは、みことばによってえてもらいます。そのとき、をかすとをするようになります。のもきなみこころは、しとい、をえることです。Remnantはににするために、ながかれるようにりましょう。それでこそ、のみことばににすることができます。Remnantはがくださったをりでわって、のえ、がないのみことばににするになるようにりましょう。 |
|  | 、にのをささげてにするRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.02.20.237火曜弟子訓練1講(現場福音メッセージ54,55課) |

|  |  |
| --- | --- |
| **23**（金） | との/をばせるき |
|  | **ピリ4章6～7節、ヘブ11章1～6節**　さて、は、んでいることをし、にえないものをさせるものです。のたちは、このによってされました。によって、たちは、このがのことばでられたことをり、その、えるものが、にえるものからできたのではないことをります。(ヘブ11:1～3) |
|  | ににすることにはがあります。そのをって、をばせるきがなのかをって、そのきをするようにりましょう。１つ、のは、とのです。は、キリストのをつことです。そのでをけましょう。まずにするをけましょう。そのは、かなりからがサタンにえられてきたのです。そして、みだらないやをすをけましょう。そのは、のでられているなのです。このをかってこそ、かすことができます。まず、たましいをやして、のからしてくださったのみことばをるようにってあげましょう。そして、にたされて、といつもともにいて、そのにしたがってのをかすようにりましょう。２つ、をばせるきは、がいるでがずすることはなのかをつけるのです。これが、ただです。すると、のえをけて、するようになります。それがです。このとき、にをささげるができます。すると、にをせるくらいしいがえられ、そのをしするのをるようになります。キリストのをって、にをささげるきになるようにりましょう。 |
|  | 、ににして、をばせるきをするRemnantなりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.2.20.237火曜弟子訓練2講(現場福音メッセージ56,57課) |

|  |  |
| --- | --- |
| **24**（土） | の/のがどこからるのか |
|  | **エレ33章1～9節**　エレミヤがまだのにじめられていたとき、びエレミヤにのようなのことばがあった。「をった、それをってくてた、そのがであるがわれる。(1-2) |
|  | Remnantはのをいていくようになります。しかしそれは、がないRemnantにはなことです。それゆえ、Remnantはのをくためにることがあります。１つ、の\*はからまります。、がくすべてのに、そしてさいことでものをつければいのです。すると、えをけることができます。のは、のわりのからてきたり、なのみことばのからつけることができます。そして、Remnantはりでのをわってえることができます。２つ、のは、のくにむことです。ピリピ413をれば、「をくしてくださるによって、はどんなことでもできるのです」とわれています。たちがキリストのにいれば、がれるしかありません。ですから、にみことばによってづいてきましょう。それゆえ、をささげてをくことがなのです。そして、みことばをいたには、することがですが、するということは、みことばをのえではなく、のみことばとしてけることです。すると、のリーダー、のをかすリーダーのにがいてくださるでしょう。Remnantはのであるにづくりをしけましょう。\*：あることののことです。 |
|  | 、のについてかず、にしたがってってのをわうRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.2.20.237火曜弟子訓練3講(現場福音メッセージ58,59課) |